



2021JR総連春闘勝利！ シリーズ②

春闘相場を引き下げるJR連合！ 組合員の立場で要求するのが労働組合！

報道によると、JR連合は2月2日、2021春闘のベア要求額を1,000円にすると決めました。すると必然的に、JR東海ユニオンもベア1,000円を超える要求はしないこととなります。

JR連合が1,000円と決めた理由は、コロナ禍で旅客需要が急減し、JR各社の決算が赤字を計上したためとしています。連合はベア2%（約6,000円）要求の方針を掲げています。コロナ禍という条件はありますが、いかに低い要求かが分かります。要求の設定は、組合員の生活実感を第一に考えるものであり、会社の業績で決めるものではありません。特に、JR東海はリニア建設のための膨大な資金があるので、賃上げをケチる必要はありません。

本紙No.2563、2565でも明らかにしたように、JR東海ユニオンは雇用危機を煽ることで、春闘破壊（春闘で賃上げを押さえ込む）を画策しているとお伝えしましたが、現実そうなりそうです。

さて、夏季手当ですが、JR東海ユニオンはどれだけ要求するのでしょうか？ 昨年の年末手当の要求は、安定的支給ベースの2.9ヶ月でした。会社が言ってきた夏季手当の安定的支給ベースは2.7ヶ月です。まさか、2.7ヶ月を下回る要求を出さないでしょうね。JR東海ユニオンが要求を出す前に、当該組合員は声を大にしましょう。